

HAKONARI 取扱説明

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

使用上の注意点(重要!)

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※AC アダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・指定の規格(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)に合ったものをご使用下さい。
- ・AC アダプターの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときは AC アダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。故障の原因になる場合があります

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。一度電源供給器(パワーサプライ)をオフにしてから接続して下さい。

※使用しない時は INPUT ジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

※電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、液漏れの原因になる場合があります。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

※トウルーバイパスの為、INPUT と OUTPUT を逆に接続しても OFF 時には音が出ます。お間違えない様、お気を付け下さい。

※オペアンプは故障時のメンテナンスの為、ソケットを使用しています。ご自身での交換はお控え下さい。

※本体にケーブル表面などゴム状のものを長時間接触させておくと、塗装が溶ける事がありますので、お気を付け下さい。

■特徴■

一般的にスタックタイプのアンプの本領を発揮させるには、スピーカーキャビネットが箱鳴りするほど音量を上げなくてはならず、その大音量は現代においては時にアンサンブルのバランスを破壊するほどに大きくなることがあります。

HAKONARI は小音量で、箱鳴りさせた時と同じような温かみのある太い音色、さらにはもっとホットな中高域を得る為に開発されたモデルです。また、コンポアンプにスタック風のトーンカーブを施して、その上に同じように箱鳴り感を足していく使い方もできます。

常にオンで使用しても全体の音色を損ねることが無いように、マイナスの意味の色付けがされないよう注意して考案された回路を、他の機種と同じくハンドワイアードで組み上げています。

通常、歪みエフェクターと併用する場合は、歪みエフェクターの後ろに置いて下さい。

■コントロール■



① volume
音量を調節します。

② box
箱鳴り帯域のブースト量を決定します。一番左で0、右に回すほどブーストして行き、3 時付近からハイミッド帯域も強調し始めます。

③ up/normal
モードを選択します。

up
⇒基本(box をしぼり切った状態) はフラットで、そこに box でミッドを足していくモードです。

normal
⇒基本(box をしぼり切った状態) が中域を落としたスタック風カーブで、そこに box でミッドを足していくモードです。

④ ON/OFF
オン、オフスイッチ(オフ時はトゥルーバイパス)

■電源■

006P 乾電池(1 個)または AC アダプター(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)
※安定化されていないものは 9V 以上の電圧が出力されている場合があります、故障の原因になる可能性がありますので、なるべく安定化されているアダプタを使用して下さい。電池の場合はアルカリ電池推奨。

■消費電流■

約 4.7mA (DC9V)

■サイズ■

67 (W)x 50 (H)x 112 (D)mm

■重量■

約 232g

■電池交換■

裏蓋を外して開け、電池スナップに電池を取り付け、スイッチ下の電池収納スペースに収納して蓋を閉じます。